

令和5年度宮崎県野鳥生息状況調査

調査委託先：日本野鳥の会

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	10/13/2023	10/13/2023	10/13/2023	10/13/2023	
生息（飛来）数	320	20	107	83	530
うちカモ類	172	2	58	43	275
うち猛禽類	22	2	3	7	34
概要	未だ少ないながらもカモの飛来が始まっている。 カモの飛来数は昨年の約半数である。 トビ以外の猛禽類の飛来は未だ少ない。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	10/27/2023	10/27/2023	10/26/2023	10/27/2023	
生息（飛来）数	563	65	292	233	1,153
うちカモ類	310	36	173	174	693
うち猛禽類	18	2	1	7	28
概要	カモの数は前回より若干増えたがまだ少ない。 猛禽類ではトビの他ミサゴ・ハイタカ・ハヤブサなどが観察された。 ジョウビタキが渡ってきており急に増えた。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	11/9/2023	11/9/2023	11/9/2023	11/9/2023	
生息（飛来）数	1,137	109	691	424	2,361
うちカモ類	798	79	503	299	1,679
うち猛禽類	17	0	1	2	20
概要	カモの数は前回の2.5倍に増えたが、昨年同期の約65%である。 巨田池のハスが一部枯れてきたが、まだ大部分は残っており、カモの数が少ないため鴨網猟の会長も猟へ影響しそうだと話していた。 猛禽類は冬鳥の飛来がまだ少ない。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	11/24/2023	11/25/2023	11/24/2023	11/24/2023	
生息（飛来）数	2,152	199	1,215	648	4,214
うちカモ類	1,955	177	1,036	545	3,713
うち猛禽類	23	0	3	4	30
概要	巨田池のハスが全面を覆っているため、飛び回るカモのみのカウントになって観察数が少なくなっているが、4地点の合計数は昨年を上回っている。 カモの種では、マガモ・カルガモが多く、ヒドリガモやその他のカモも増えてきた。 猛禽類は飛来種数が増え、冬鳥が揃ってきたが、まだノスリがカウントされていない。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	12/16/2023	12/15/2023	12/14/2023	12/14/2023	
生息（飛来）数	3,036	558	1,308	522	5,424
うちカモ類	2,638	524	1,175	372	4,709
うち猛禽類	26	1	2	2	31
概要	カモの総数は前年同期に比べて若干増えた。4調査地点では、一ツ瀬川河口で多く、巨田池で少ない。 一ツ瀬川河口ではオナガガモが多い。 冬鳥の猛禽類の飛来が少ない。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	12/29/2023	12/27/2023	12/29/2023	12/28/2023	
生息（飛来）数	3,317	833	1,547	572	6,269
うちカモ類	3,162	771	1,493	493	5,919
うち猛禽類	27	1	2	2	32
概要	カモの数が4カ所合計で約6,000羽になった。 マガモ・カルガモが多い。 一ツ瀬川河口のニツ立調整池でオオバンが落鳥があった。 猛禽類の数が多のはトビが多いことによる。				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	1/13/2024	1/12/2024	1/12/2024	1/11/2024	
生息（飛来）数	2,083	904	1,435	625	5,047
うちカモ類	1,789	836	1,341	315	4,281
うち猛禽類	10	3	3	4	20
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・検査優先種1及び3の野鳥数は前回と変わらないが、検査優先種2の野鳥が若干少なくなった。 ・カモの総数は今季ピークの12月下旬の数の約70%に減少した。 				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	1/26/2024	1/26/2024	1/26/2024	1/26/2024	
生息（飛来）数	1,672	1,026	1,554	499	4,751
うちカモ類	1,405	959	1,452	410	4,226
うち猛禽類	11	2	2	2	17
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・カモの数は、一ツ瀬川河口では減少しているが、五ヶ瀬川南・巨田池・大淀川では増加している。しかし、全体としては12月下旬をピークに徐々に減少している。渡りの兆候と見られる。 ・猛禽類は出現が少ない。殆どトビとミサゴである。 				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	2/9/2024	2/8/2024	2/9/2024	2/8/2024	
生息（飛来）数	2,654	1,305	2,015	405	6,379
うちカモ類	2,495	1,252	1,934	310	5,991
うち猛禽類	11	6	3	2	22
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・1月に入って減少傾向にあったカモの総数が大きく増加している。春の渡りが始まり大きく移動しているものと推察される。 ・一ツ瀬川河口の調整池ではホシハジロの落鳥が確認された。 ・猛禽類は非常に少ない。一ツ瀬川河口でハヤブサが見られたが、観察地全体を見てもトビとミサゴが殆どである。 				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	2/22/2024	2/24/2024	2/26/2024	2/22/2024	
生息（飛来）数	953	992	1,758	437	4,140
うちカモ類	818	889	1,678	222	3,607
うち猛禽類	12	4	3	4	23
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・カモの総数が前回の約6,000羽から今回の約3,600羽へと半減している。特にマガモの減少が著しい。 ・カモの総数及び検査優先種の数は11月下旬の数とほぼ変わらないほどに減少している。 ・猛禽類は、留鳥のトビ・ミサゴのほか巨田池でオオタカが見られたほかは殆ど見られなかった。 				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	3/2/2024	3/1/2024	3/1/2024	3/2/2024	
生息（飛来）数	989	1,183	1,856	353	4,381
うちカモ類	866	1,114	1,783	238	4,001
うち猛禽類	10	0	3	3	16
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・巨田池と大淀川のカモの数がまだ多く、カモの総数は前回より若干増加したが、全体としては少しずつ減少傾向にある。 ・検査優先種の数は前回より若干増えているが、前回と比べて大きな変化はない。 				

調査箇所	一ツ瀬川	巨田池	大淀川	五ヶ瀬川	合計
調査日	3/15/2024	3/15/2024	3/15/2024	3/13/2024	
生息（飛来）数	934	1,152	447	269	2,802
うちカモ類	771	1,100	403	183	2,457
うち猛禽類	8	3	3	1	15
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・渡りが一段と進み、カモの総数は前回の4割減少した。 ・巨田池ではアオサギの営巣抱卵が始まっている。 ・冬鳥の猛禽類は殆ど観察されなくなった。 				